

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：5年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

1 結果と分析

- 男子は、特に長座体前屈の大きく関節を動かす能力や、50m走の走力に関する能力が優れている。
- 女子は、特に反復横跳びの敏捷性や、50m走の走力に関する能力が優れている。
- 男女とも、「立ち幅跳び」の瞬発的に体を動かす運動に課題がある。

2 取組についての評価

(1) 体育科の学習指導

①効果があった取組

- ・全学級が目標をもって進んで取り組んだスポコン広場の運動
- ・毎時間目標をもって運動に取り組むことができるワークシートの工夫
- ・タブレットを用いて、自分自身の動きを友達と対話しながら見つめ直す活動の設定

②改善を図る点

- ・運動時間の確保のため、子ども達が身体を動かす活動と、動作をよりよくするための話し合い活動の時間配分の工夫を行うこと
- ・適切な教具等の予算申請を行うこと
- ・体力向上のための取組を充実させること
- ・瞬発力を高めるための運動を、体育科の授業の始めの時間を活用して継続的に行うこと

(2) 今後の体力向上に対する取組

- ・体育委員会と連携し、外で遊ぶ意欲を高める活動を設定する。
- ・体育科の授業で、短い時間で行える運動を共有する。
- ・課題となる「敏捷性」「跳躍力」を高める動きのある遊びを提案する。